

インターユース堺

台湾東部地域 スタディツアー

2017年8月9日(水)~19日(土)



主催：インターユース堺(通称IYS) 後援：堺市・堺市教育委員会

画像資料：東華大学HP、義守大学HP、旅台台湾Web、www.travelbook.co.jp、www.google.co.jp/maps/

台湾 面積：約36,000平方km 人口：約2,300万人
 言語：中国語、台湾語、客家語、台湾原住民語



清の時代頃を最盛期に進んだ移住により、人口の大半を中国本土から移住した漢人の家系が占めるようになったが、その出身地は福建省が多く、福建地方の言葉が、現在は台湾語と呼ばれ、広く使われている。また、北方から移住してきた客家人の多くは客家語を話す。原住民族はその部族毎に独自の言語を有していたが、日本統治時代の同化施策や、漢人社会との接触により失われていった言語も多い。

(1)概要

今や、日本から最も身近な観光地の一つである台湾。日本からの旅行者数も162万人を超え、逆に訪日者数に至っては367万人（2015年、日本政府観光局）を超える、交流地域でもあります。

東日本大震災の時、台湾からのチャリティーを含む支援の申し出額が発災からわずか一か月で140億円を超え、その時期の世界の最高額になりました。また2016年4月の熊本大地震でもわずか数日で1億を超える支援の申し出がありました。日本からは2016年2月に台湾南部で発生した地震に対し、当日の夜には調査チームを派遣し、100万ドル規模の支援を表明するなど、日台の間には相互支援の歴史を持っています。

しかしながら、その身近なはずの台湾について、私たちはどれくらいの事を知っているのでしょうか。台湾島は数々の領有をされてきた歴史を持ちます。1624年のオランダの東インド会社による領有から、1626年にはスペイン勢力の進出、1644年「反清復明」を掲げる東寧王国の設立。1683年の形勢逆転に伴う清朝への編入など、また、近年に至っても、1895年日清戦争による大日本帝国への割譲や、1945年の第二次世界大戦後の中華民国・国民党軍の上陸、などがあげられます。

同様に知られているようで知られていないのが、台湾原住民族についてです。台湾原住民族は、およそ5千年前以降に東南アジア島嶼部、太平洋の島々、マダガスカル、さらに東の太平洋の島々にまで拡散したとされるオーストロネシア語族として語学的にもっとも古い形を保っており、台湾原住民族の言語が祖語に最も近いといわれています。また拡散の過程で一部は黒潮などの海流を利用し日本にも渡ってきたとされています。このように歴史的に見ても重要な位置に存在し、日本の文化ともつながっているのが台湾原住民族なのです。

現在台湾には公的に認識されているだけで16の民族があり、それぞれが独自の言語と文化を保存していますが、その他にも長い領有化の歴史の中で、漢人社会やその文化との接触などにより、固有の言語や文化を失った民族も多数存在します。現在の台湾では原住民族の言語・文化などの復興が盛んにおこなわれるようになってきましたが、一度失われた言語・文化の復活には並々ならぬ努力と歳月が求められます。

インターネットでは、今後広まりゆくグローバル社会へ向けた、地域社会における相互理解や友愛への道筋を探るとともに、二国間に留まらない異文化理解と多文化共生について考えるためのヒントを得ることが出来るのではないかと考え、台湾原住民族コミュニティへの訪問・交流を行い、文化の保護や伝承について意見交換など行う意欲のある団員を募集します。語学力や特別なスキルは必要ありません。共に学び、共に行動する中で、人権課題について考え、国際感覚の向上に取り組む気持ちを育みましょう。

(2)スケジュール

(2017年2月現在の予定。航空便および訪問予定組織等の都合により日程や行程は変更されます。)

月 日	行 程	プログラム等	宿 泊
8月9日(水)	関西国際空港発→桃園国際空港	台北市内視察	台北市内
8月10日(木)	台北市内	国立台湾博物館、順益原住民族博物館、豊田移民村、卑南文化公園、国立台湾史前文化博物館、瑠家農場・災害復興住宅、瑠家郷禮納里集落、台湾原住民族文化園区、産業施設等、訪問・視察。	台北市 花蓮県壽豊郷
8月18日(金)	～台東市内～屏東県瑠家郷～高雄市内	国立東華大学原住民族学院、秀林郷可樂集落、壽豊郷アミ族コミュニティ、光復郷太巴吡集落、豊濱郷磯崎部落、玉里鎮春日集落、台東県プマ族コミュニティスクール、南王コミュニティ、ルカイ族・パイワン族コミュニティ、義守大学、訪問・交流。	台東市 高雄市
8月19日(土)	高雄市内～桃園市桃園国際空港→関西国際空港着	伝統文化・芸術・ワークショップ等、市場経済調査。	各ホテル泊

(3)IYS第13期年間カリキュラム(予定)

- ①前期課程(人権研修等) 6月1日～8月4日 (10回開催)
- ②台湾スタディツアー 8月9日(水)～19日(土) (10泊11日)
- ③後期課程(広報・交流活動、発展研修等) 8月24日～12月14日 (17回開催)
- ④人権啓発活動 「平和と人権展」、区民まつり、「人権を守る市民のつどい」等における啓発活動への体験参加
- ⑤社会貢献活動 1、市内各学校や地域等への出前講座
2、12月23日(祝)を実施日とするヤングサンタ事業
- ⑥修了証授与式 2018年3月9日(金)(予定)

詳しくは「団員募集チラシ」、Webサイト等でご確認ください

お問い合わせ インターユース堺 (International Youth SAKAI)

事務局 〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号 堺市役所 市民人権局 人権推進課内
 TEL (072) 228-7420 Fax (072) 228-8070
 事務局分室 〒590-0822 堺市堺区協和町2丁61番地-1 堺市人権ふれあいセンター内
 TEL (072) 245-2538 Fax (072) 245-2595